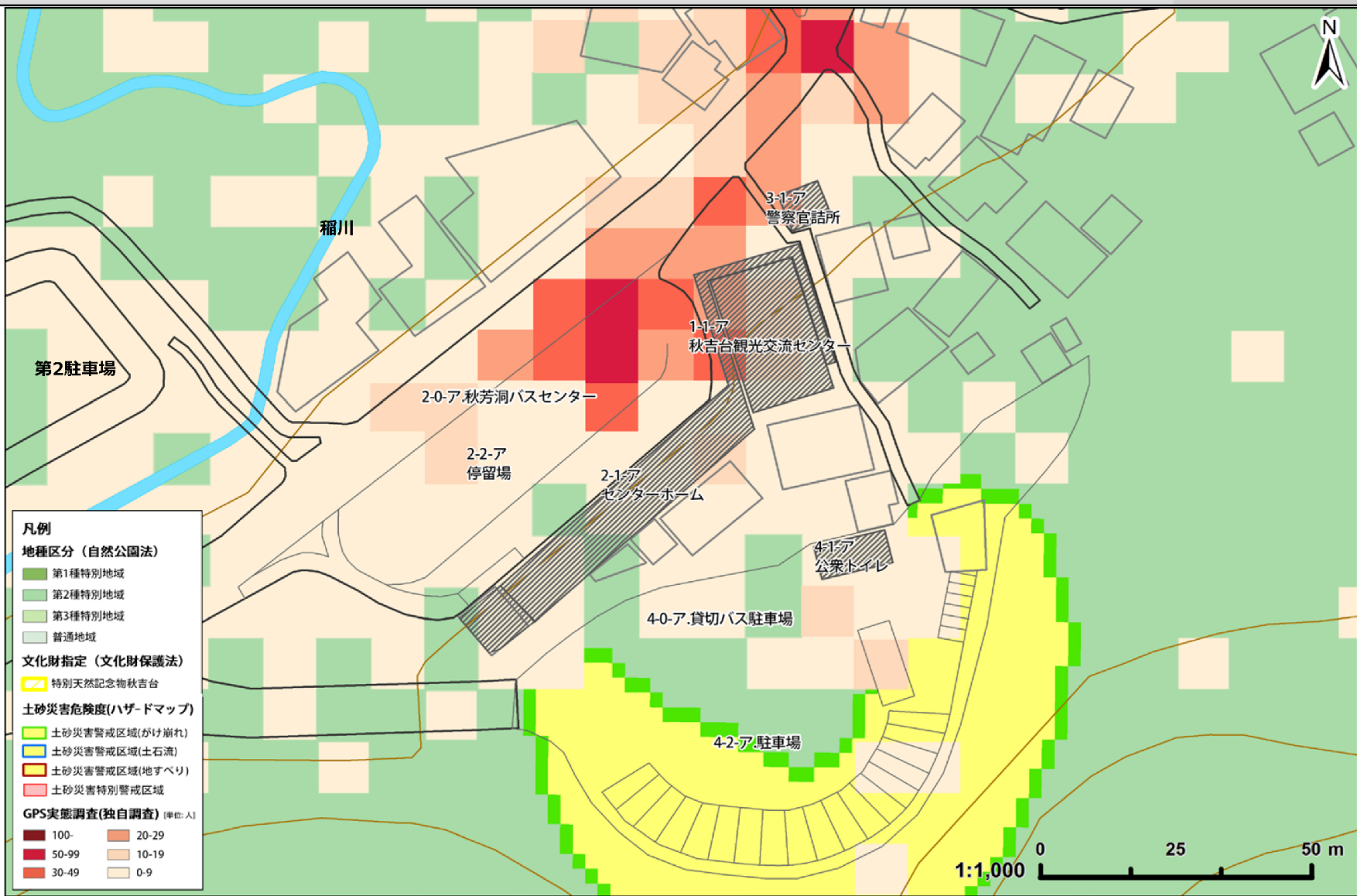


エリア配置図



エリア番号	エリア名称
ア	秋吉台観光交流センター周辺

**エリアの位置づけ**

- ・秋芳洞南側に位置する秋吉台観光交流センター一帯は、秋吉台・秋芳洞の玄関口であり観光客が最も集中する場所の1つ。
- ・総合案内機能をもつ秋吉台観光交流センター、警察官詰所、路線バスの停留場である秋芳洞バスセンター、観光バスの停留場である貸切バス駐車場が立地している。

**エリア周辺の状況**

- ・秋芳洞・秋吉台観光の玄関口としてのゲート性や、視認性が悪い。
- ・観光バス専用の乗降場所と秋芳洞までの道のりの視認性が悪く、バリアフリー化がなされていない。
- ・秋吉台観光交流センター～商店街の歩道幅員が狭く、歩行者安全確保に難あり。
- ・民間所有の空き店舗等を含め、老朽化が進んでおり、寂れた印象を与えている。
- ・路線バスと、観光バスの乗降場所が2段に分かれ存在しているが、利用頻度が少ない。

**ポータル分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理**

- ・2-0-ア.秋芳洞バスセンターのハード評価は非常に低い一方、ソフト評価は非常に高く、優先的にハード面を含めた施設整備を行うことが望ましい。
- ・4-0-ア.貸切バス駐車場のハード・ソフト評価は低く、路線バスの発着便数は1時間に2便程度であるため、2つの駐車場統合を視野にいれ、利用実態を含めた検討を行う。
- ・4-2-ア.貸切バス駐車場は土砂災害警戒区域に該当しており、がけ崩れにより利用者の生命に危害が生じる可能性がある。
- ・3-1-ア.警察官詰所、4-1-ア.秋吉台観光交流センター、4-1-ア.公衆トイレはハード・ソフト評価共に低いが必要機能であるため、統合を視野に入れ総合的な検討を行う。

**エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿**

- ・秋吉台観光の玄関口として、観光客に分かりやすく、景観・建築物のデザインを含め好意的な印象を抱かせる設えの向上に努め、観光拠点機能の充実をはかる。
- ・現段階で喫緊の課題であるバリアフリー化と交通動線計画については、建築物と一体的な整備も視野にいれ、適切な整備時期、内容を検討する。

管理番号-棟番号-エリア番号		1-1-ア	2-0-ア	3-1-ア	4-0-ア	エリア総合	全施設平均
施設名称		秋吉台観光交流センター	秋芳洞バスセンター	警察官詰所	貸切バス駐車場		
ハード評価	老朽化判定	33.1	20.3	28.6	31.9		
	建築年数	6.6	6.6	6.6	17.2		
	災害危険度	25.0	25.0	25.0	12.5		
	耐震性能	0.0	0.0	0.0	0.0		
	バリアフリー性能	12.5	0.0	0.0	12.5		
合計		15.4	10.4	12.0	14.8	12.6	21.3
ソフト評価	経済的評価	10.2	14.8	14.1	14.3		
	利用状況	17.5	0.0	0.8	13.0		
	実態調査	7.0	40.1	0.5	0.9		
	満足度調査	10.0	0.0	0.0	0.0		
	合計	11.2	27.4	5.1	9.4		